

## 市長の窓

しげ のぶ  
滋宣の



ぼうちゆう かん あんちゆう めい  
“忙中閑あり 暗中明あり”

その 59

そったく  
啐啄同時

禅の言葉に「啐啄同時」という言葉があります。

卵の中の雛鳥が殻を破ってまさに生まれ出ようとする時、卵の内側から雛が嘴でコツコツとつづくことを「啐」といい、それを聞いた親鳥が外側から殻をコツコツとつづくことを「啄」といいます。

この雛鳥が内側からつづく「啐」と、親鳥が外側からつづく「啄」がタイミングよく同時になされたとき、新しい生命が誕生します。「啐」と「啄」が一瞬でも早くてもいけない、遅くても新しい生命が生まれることがないのです。

私たちの少ない経験の中にも、タイミングを逸して苦い経験や後悔をしたことがあるはずです。

「啐啄同時」胸に刻み、即行を心掛けたいものです。

能代市長 齊藤 滋宣



9月13日、おなごリフェスティバルでオープニングパレードに参加しました。